

(毛呂山町)、桑梓(本庄市)、江南(熊谷市)、おお里(熊谷市)、雀幸園(熊谷市)、泰山木のある家(熊谷市)、上里学園(上里町)、あいの実(日高市)、さんあい(深谷市)、はなこみち(深谷市)

児童養護施設への支援について

児童養護施設奨学金の設立

(継続事業のため一度始めるとやめるのが難しい)
※多くのロータリアンが希望する、日本の学生の支援として。ただし、対象が多すぎるため、児童養護施設の子どもに対象を絞る。(一人親家庭等もある)
※現状の奨学金の多くは、金額が多くて対象者が少ないか、金額が少なく対象者が多い。

◆対象をどこまでにするか

- ・大学、専修学校、短期大学、高等専門学校、大学院
- ・ロータリーでは、奨学金は米山・財団ともに大学および大学院が対象

◆奨学期間をいつまでにするか

- ・受験費用・入学準備金などの1回のみ
- ・東京スター銀行のように1年間のみ
- ・在学中の4年間(人数が増えると負担は大きい、一番望ましい)
- ・その他・

◆奨学金をいくらにするか

- ・年間30万円(月額2.5万円)
- ・年間60万円(月額5万円・国立大学授業料相当)
- ・その他

◆対象の児童養護施設をどうするか

※大学への進学希望者は少ない。カルテットは全員で子ども43名、昨年の高卒卒業生は5名(うち、大学進学希望者1名(または2名?)、今年の卒業生は2名(大学進学者がいない可能性が高い)

- ・カルテットのみにする
- ・カルテットおよび児童養護施設いわつきを対象にして、第4グループ各クラブに呼び掛ける。
- ・上記にホザナ園を加えた3施設にして、さいたま市内各クラブに呼び掛ける
- ・その他

My 自転車支援制度の設立(継続事業)

※施設に入所した子どもたちが共同の自転車ではなく自分だけの自転車に乗れるよう、その都度すぐに自転車を買って与えられるようにしたい。例会でその自転車に乗っている写真を見せ、会員に報告する。

その他の支援など

※前回例会の卓話にあった、招待旅行など



会員よりご意見・ご提案など

■平野 友紀 会員

ただお金を渡すのではなく、社会に出る時の支援ができたと思う。就職する子どもにも人的援助ができないだろうか。

■荒井 伸夫 会員

ロータリーとして何ができるかを考えたい。ロータリーとの関わりを活かしていただけるような支援ができたなら。

■渋谷 廣慶 会員

継続する支援なのでニコニコでは難しいかと思われる。

■浅野 雅弘 会員

対象は大学生在学4年間、年間30万ほど、カルテットのみにしてはどうか。継続して現実的に支援していく方向で。

